

夏の児童館特集

本天沼児童館

7月13日(土)午後、「ほんあまえんにち」が行われました。「子供たちによる子供のための行事」をコンセプトにおこなわれた縁日には、子供たちが内容を考えた15の『子供のお店』と地域団体の協力の下に4つの『大人のお店』が開かれました。『子供のお店』は輪投げ・ボーリング・魚釣り・射的・コリントゲーム・占いの部屋・ウォークラリー・お菓子屋さん等々楽しいものばかり。内容を考えるために児童たちは打ち合わせを重ね、遊び道具や景品を作り、当日の運営も責任を持ってあたりました。またお菓子屋さんの「ラスク」や「水飴もなか」も自分たちで作る奮闘ぶり。集まった子供たちは楽しそうに『お店』を廻っていました。計画・運営に携わった児童たちが生き生きと活躍した行事でした。酷暑の1日でしたが、550人もの幼児から大人が集まり大盛況の縁日でした。



井草児童館

7月17日(水)午後、つくりっちタイム「アイロンビーズを作ろう」が行われました。小学1年生から参加できる「アイロンビーズを作ろう」を月に数回行っています。毎回50人ほどの児童が集まり、小さなビーズをつまみ上げ、型に合わせて配置する作業は真剣そのもの。配置が終わったものをアイロンで熱溶着すると完成です。完成品にリリアンを結び付けた物もあり、思い通りの作品が完成できたと喜んでいました。小さなビーズはテーブル上にだけでなく、床にこぼれて落ちてしまうものもあり、それを拾い上げる後片付けもがんばりました。



上井草児童館

7月20日(土)午後、民生児童委員、主任児童委員、青少年委員、上井草学童クラブ父母会、三谷小学校学校支援・地域共生本部、三谷小学校PTA、井草中学校ISS(ボランティア隊)、井草中学校演劇部の協力の下、三谷小学校地域子育てネットワーク事業の「かみいぐさフェスティバル2013」が開催されました。子どもスタッフによる手作りグッズ、グループ活動メンバー・中学生・大人スタッフによるわたあめ・おもちゃの金魚すくいなど、たくさんの模擬店が並んでいました。夏休み初日ということもあって、たくさんの子供達が買物客として訪れて、児童館の内外は歓声がこだましていました。



四宮森児童館

7月24日(水)午後、「まほうのぼうし」というノーマライゼーション事業が行われました。この事業は月に1回、障害のある子もいない子も一緒に楽しく遊ぶことを目的に実施されています。7月はみんなの大好きな「水遊び」！児童館の庭に3つのビニールプールと水鉄砲が用意され、参加者は1年生から5年生までの17人。子どもたちは大喜びでプールに入り、水鉄砲でお互いをねらいあって大騒ぎ！全員全身びしょぬれでしたが、どの子の表情も生き生きとしていました。やっぱり子どもたちは水遊びが大好きなのですね。



今川児童館

7月25日(木) 午後、小学生を対象とした夏のお茶会「お茶をたててみましょう」は先着15名のところ、あっという間に定員に達する人気イベントで1年生から6年生の児童が集まりました。講師は地元の小美野さんと小川さんで、最初は作法(おじぎの仕方)から始まり茶道で使用する道具の説明の後、講師の点てたお茶を児童たちが順番に頂くのですが、その時に「ご相伴します」「お先に」「お点前ちょうだいします」の発声の後茶碗を回して飲みます。講師の方から「お茶の味はどうか、苦くはないですか？」の問いかけに参加した皆が「おいしいです」と答えていました。その後、自分で講師に教わった手順でお茶を点でて飲んでいましたが「お代りもいいですよ」の声に2杯、3杯と喜んで飲んでいました。



東原児童館

7月26日(金) 夕刻、「納涼シアター東原」が開催されました。空調の効いた涼しい遊戯室で、『ドラえもん〜のび太と緑の巨人伝』が上映され、たくさんの子どもたちがスクリーンに見入っていました。上映前には、昨年から協力している井草ふるさとあかりまつりに向けて行われた「あかり作り教室」で、参加者が作成した割りばし行燈のローソクに火を灯し、真っ暗な部屋の中で幻想的なあかりを楽しみました。上映後には、お迎えに来た保護者の方にも見ていただくこと行燈を児童館の外に出し、夕闇に映えるあかりを親子で堪能しました。一生懸命作った行燈の絵柄は、一つ一つ個性が光って、一齐に灯ると不思議な一体感を感じました。



桃井児童館

7月30日(火) 午後、夏休み企画「なつやすみ工作ランド」のプログラムのひとつ「Myガラスの器?!」が行われました。ミニルーターという小さな電動研磨機のようなもので、ガラスのコップや瓶に好きな絵を削りながら描いていきます。ジーンジーンという音が響き絵をかきながらガラスを削りとっていき作業がとても面白そうでした。かわいい絵の自分だけのガラスが次々に出来上がり、涼しげで夏らしい工作教室でした。3日間の催しで前後には「カレーなる染めもの」「くるくるパズル」も行われました。



下井草児童館

8月7日(水)の午後、こどもカフェ「にじいろところてんゼリーづくり」が行われました。毎月行われているというこどもカフェ。今回は夏休みなので、少し時間のかかるゼリーを使ったデザート作りが行われました。小1～小4の子どもたちが2班に分かれてにじいろの7色のゼリーを作り固めて、ところてんの型を使って流し、透明のカップに彩りを考えて盛り付け、トッピングには果物の缶詰とハートに型抜きしたゼリーを使いました。ゼリーの色を7色にするのがポイント、材料はカキ氷用のいちご、メロン、ハワイアン等のシロップとオレンジやブドウのジュースを使います。ゼリーがうまく固まらないといけないので分量をきちんと計らなければならないとか、ガス台や熱湯の入ったポットを使ったりするのですが、器具の扱い方もうまくて一度の説明だけで、要領よくみんな協力し合って行う手際の良さに驚きました。出来上がったところてんゼリー、夏らしい色でおいしそうでした。



講座運営部主催の講座の予定は、毎月11日発行の「広報 すぎなみ」に掲載されます。講座内容や申し込みについては、「広報 すぎなみ」にてご確認ください。

協働 事業

井草センターのつどい パフォーマンス朗読「祈り」

平成25年8月25日(日) 場所:井草地域区民センター

地域の小学校のお母さん達による朗読とパフォーマンス朗読の会が行われました。まずは桃井第五小学校による絵本『ぼくのへやにうみがある』、続いて桃井第一小学校による紙芝居絵本『めっきらもっきら どおん どん』、次に沓掛小学校による紙芝居『たべられたやまんば』が演じられました。少しずつ形を変えた巧みな朗読に、集まった40人ほどの観客が次第に引き込まれて行くのが分かります。続いて「お芝居やさん 鈴木KE企画」によるパフォーマンス朗読が演じられました。これは数人の朗読に、語り、ピアノ伴奏、画像、効果音など様々な演劇手法を交えたまことにユニークなもの。夢の島に集められたゴミの思いが語られる「夢の島」と「らっきょう」の二本。「らっきょう」はコンビニの78才のアルバイト老女が、大好きならっきょうを語るうちに、戦時、特攻兵として散った青年との秘められた思いを語ってゆく……。圧巻でした。



平成25年度 八成まつり

～皆さま、誘い合わせて是非お出かけください～

日時：11月3日(日) AM10～PM3 雨天決行

内容：模擬店・芸能発表、作品展示、工作教室、地元産の新鮮野菜や鉢花の即売など

会場：八成区民集会所 住所：杉並区井草1-3-2

お問い合わせ：TEL 3301-7723 (井草地域区民センター協議会 事務局)

※出展内容は変更になることがあります。

第26回 あげぼのまつり

～ほしい・おいしい・たのしい・あげぼのまつり～

日時：10月26日(土) AM10～PM4 (雨天決行)

内容：模擬店・バザー・アトラクション・被災地支援

会場：杉並区あげぼの作業所

住所：杉並区上井草4-3-11

お問い合わせ：TEL 3395-1441

◎ボランティア募集

第39回 杉実祭

～区民の方々と交流の場にしたいと思います～

日時：11月16日(土) AM10:30～PM2:30 (雨天決行)

内容：作品展示・即売・ゲーム・模擬店・バザーなど

会場：すぎのき生活園

住所：杉並区井草3-18-14

お問い合わせ：TEL 3399-8953

～井草の散歩道～

「杉並区立井草中学校新校舎完成」



学校生活を送って欲しいと感じました。

今年3月、待ちに待った校庭の完成により、学校施設全体が完成しました。5月の運動会でも1000人以上の来場者が殺到したとのことでした。新校舎の入口は門扉が目立たず、先生も生徒も同じ門から入り、緑も多く、とても開放的な印象を受けました。校舎内は木の素材を生かし採光にも配慮され、目に優しく感じました。換気や空調も快適な環境を作ってくれています。現在(2学期当初)502名と、杉並区内で最も多い生徒数です。来年は各学年5クラスになる見込みで現在よりも多くなるだろうとのお話でした。将来に向けて、子ども達がこの新しい環境で、これまで以上にのびのびと健やかな学校生活を送って欲しいと感じました。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

井草地域区民センター協議会 〒167-0022 杉並区下井草5-7-22 Tel.03(3301)7723

[検索] 井草地域区民センター協議会 とパソコンで検索してみてください。